

安曇野市環境行動計画

2023-2027

2023年3月

安曇野市

目次

1	安曇野市環境行動計画の基本的事項	1
1-1	目的	1
1-2	位置付け	1
1-3	期間	2
1-4	計画推進の主体	2
1-5	対象とする重点取り組み	3
1-6	環境基本計画事業と各分野における基本計画事業	4
1-7	対象とする重点取り組みのプログラム化	6
1-8	プログラムの見直し	6
2	具体的な取り組み	7
2-1	環境基本計画事業のプログラム	7
No.1	シンボル種（オオルリシジミなど地域の生態系を代表する種）やレッドリスト種・天然記念物などの保護活動を推進する。	7
No.2	外来生物の分布状況を把握し、その悪影響に関する普及啓発を実施する。	8
No.3	悪臭防止法に基づく臭気指数規制の適切な運用を図る。	9
No.4	広報などでごみの分別の徹底を啓発する。	10
No.5	事業者に対しごみの分別、減量化、資源化を指導する。	11
No.6	ごみの分別方法を分かりやすく説明する。	12
No.7	安曇野市地球温暖化防止実行計画に基づき、省エネルギーに配慮した行動を行う。	13
No.8	地球温暖化防止の取り組みの「見える化」を促進する。	14
No.9	公共施設を建設する際に省エネ機器・設備を率先導入する。	15
No.10	緑のカーテンの導入を推進する。	16
No.11	住宅等建物への太陽光発電(PPA 事業を含む)の取り組みを進める。	17
No.12	自動車の使用を極力削減し、自転車・徒歩でのライフスタイルへの転換に向けた普及啓発を推進する。	18
No.13	小中学校における環境教育を推進する。	19
No.14	地域活動（隣組・区・地区・地域公民館・自治会組織など）の場などで環境学習会を開催し、出張啓発を行う。	20
2-2	各分野における基本計画事業のプログラム	21
No.15	薪の地産地消率向上を推進する。	21
No.16	里山で生産される間伐材など「安曇野材」を活用できる生産・流通の仕組みづくりを行う。	21
No.17	里山で活動するための技術・知識を身につけるための「さとぷろ。学校」の年間を通じた講座運営をする。	21
No.18	松枯れ対策事業を継続して行う。	22

No.19	農地を計画的に保全し、農業生産と田園景観の基盤を守る。	23
No.20	荒廃農地対策を行う。	23
No.21	県知事認定の「エコファーマー」制度の推進に協力する。	23
No.22	鳥獣被害防止計画を策定（見直し）し、実施する。	23
No.23	多面的機能支払交付金事業の運用・啓発を図る。	24
No.24	緑の恵みを感じることができる講座を開催する。	25
No.25	景観条例や屋外広告物条例の運用・啓発を行う。	26
No.26	地下水涵養に資する手法などの調査・研究・試行を実施する。	27
No.27	雨水貯留施設の設置に対する補助を行う。	27
No.28	管理不十分な空家などへの指導をする。	28
No.29	あづみん（デマンド交通、定時定路線）の運行を行う。	29
3	推進体制と進行管理	30
3-1	推進体制	30
3-2	進行管理	31
3-3	進行管理シート	33

1 安曇野市環境行動計画の基本的事項

1-1 目的

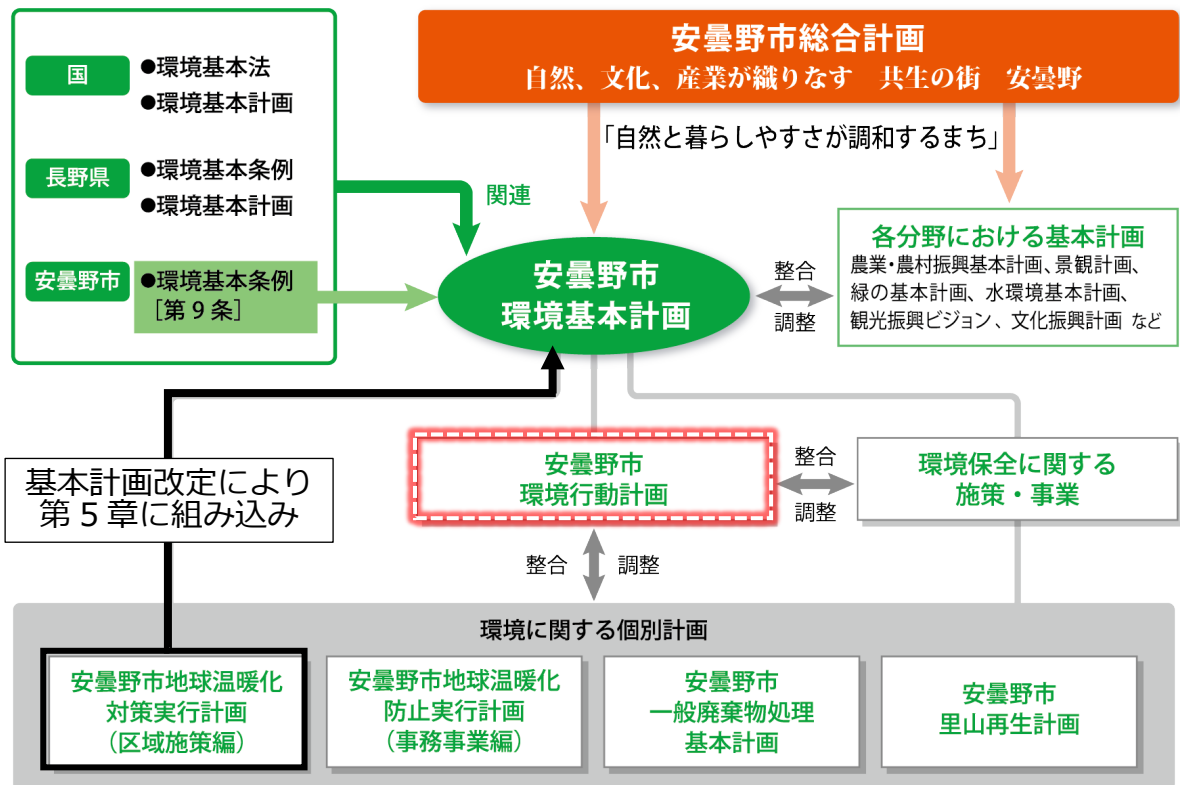
安曇野市は、第2次安曇野市環境基本計画（以下「基本計画」という。）を2018（平成30）年3月に策定し、2023（令和5）年3月に改定しました。

基本計画では、「早急に取り組む必要があること」「総合計画または個別計画で定めていること」「現在も実施しており今後も継続して行うこと」「実現性・妥当性が高いこと」のいずれかに該当する54の重点取り組みを選定しました。

そのうち、目標が数値で把握できる取り組みを中心に選出し、目標を定めその進行管理の方法を具体的に示すのがこの「安曇野市環境行動計画」です。

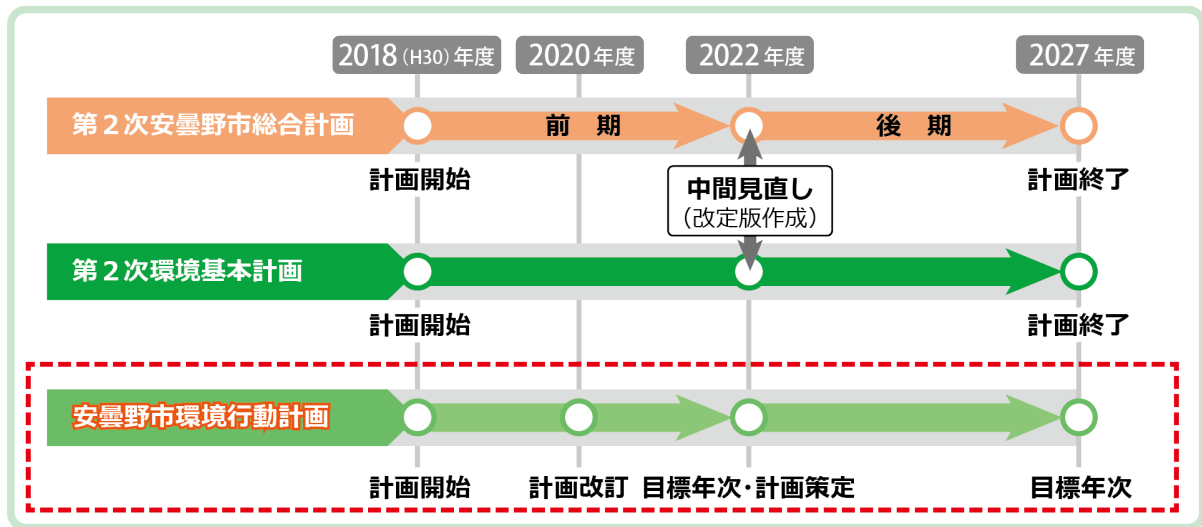
1-2 位置付け

この安曇野市環境行動計画（以下「行動計画」という。）は、基本計画を補強する安曇野市の行政計画として位置付けます。



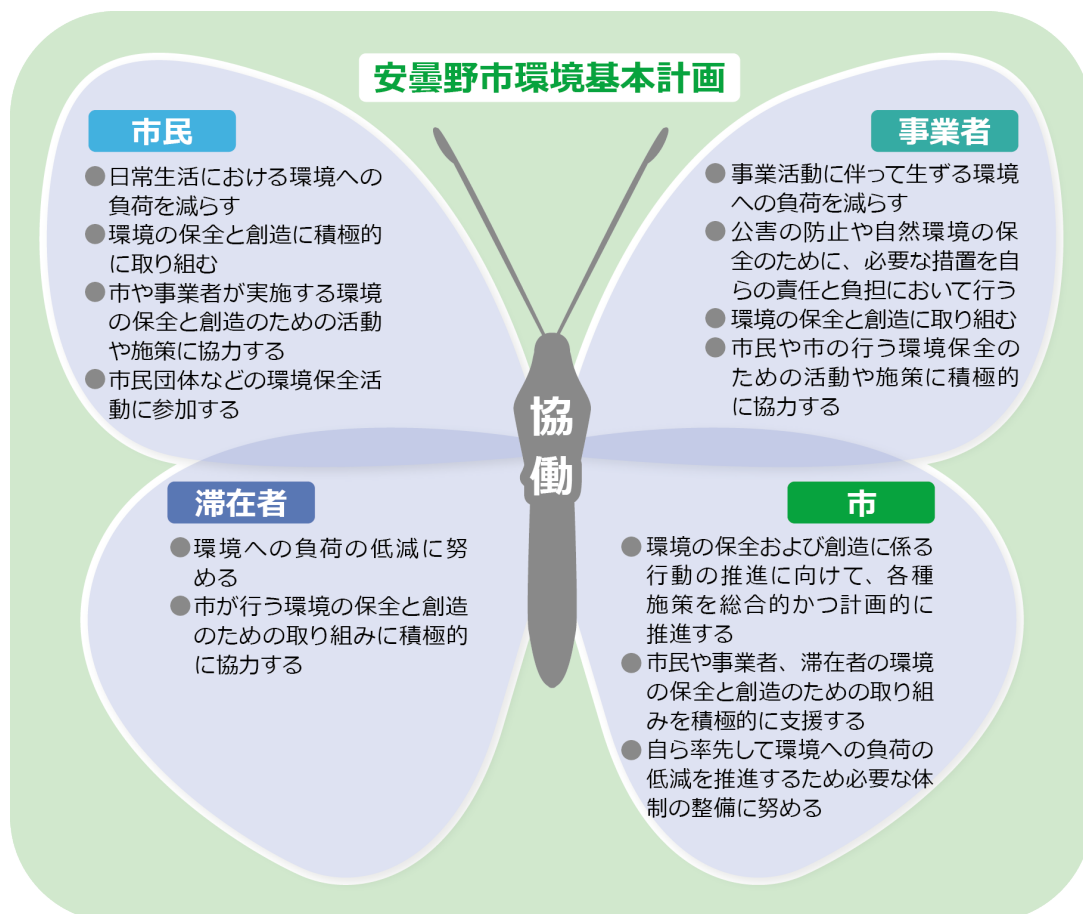
1-3 期間

基本計画は、2018（平成 30）年度から 2027 年度の 10 か年を計画期間としています。
この行動計画は、その後期にあたる 2023 年度から 2027 年度の 5 か年とします。



1-4 計画推進の主体

安曇野市環境基本条例並びに基本計画に基づき、計画を推進する主体は、市民・事業者・滞在者及び市です。



※滞在者：旅行者、別荘所有者など

1-5 対象とする重点取り組み

基本計画で選定した 54 の重点取り組み（基本計画 P69～71 参照）のうち、目標が数値で把握ができ、環境指標に関連するものとして、以下の 29 の取り組みを選出しました。

基本計画・個別目標	重点取り組み
里山をまもる	薪の地産地消率向上を推進する。
	里山で生産される間伐材など「安曇野材」を活用できる生産・流通の仕組みづくりを行う。
	里山で活動するための技術・知識を身につけるための「さとぶろ。学校」の年間を通じた講座運営をする。
	松枯れ対策事業を継続して行う。
里地をまもる	農地を計画的に保全し、農業生産と田園景観の基盤を守る。
	荒廃農地対策を行う。
	県知事認定の「エコファーマー」制度の推進に協力する。
	鳥獣被害防止計画を策定（見直し）し、実施する。
川や水辺をまもる	多面的機能支払交付金事業の運用・啓発を図る。
生きものをまもる	シンボル種（オオルリシジミなど地域の生態系を代表する種）やレッドリスト種・天然記念物などの保護活動を推進する。
	外来生物の分布状況を把握し、その悪影響に関する普及啓発を実施する。
身近な自然とふれあう	緑の恵みを感じることができる講座を開催する。
景観や歴史・文化を大切にす	景観条例や屋外広告物条例の運用・啓発を行う。
豊富できれいな水の環境をまもる	地下水涵養に資する手法などの調査・研究・試行を実施する。
	雨水貯留施設の設置に対する補助を行う。
きれいな空気と静かな環境をまもる	悪臭防止法に基づく臭気指数規制の適切な運用を図る。
	管理不十分な空家などへの指導をする。
ごみを少なくする	広報などで分別の徹底を啓発する。
	事業者に対しごみの分別、減量化、資源化を指導する。
	分別方法を分かりやすく説明する。
地球温暖化に対応する	安曇野市地球温暖化防止実行計画に基づき、省エネルギーに配慮した行動を行う。
	地球温暖化防止の取り組みの「見える化」を促進する。
	公共施設を建設する際に省エネ機器・設備を率先導入する。
	緑のカーテンの導入を推進する。
	住宅等建物への太陽光発電(PPA事業を含む)の取り組みを進める。
	自動車の使用を極力削減し、自転車・徒歩でのライフスタイルへの転換に向けた普及啓発を推進する。
デマンド交通「あづみん」、「定時定路線」の運行を行う。	
環境について学ぶ・体験する	小中学校における環境教育を推進する。
	地域活動（隣組・区・地区・地域公民館・自治会組織など）の場などで環境学習会を開催し、出張啓発を行う。

1-6 環境基本計画事業と各分野における基本計画事業

選出した重点取り組みを並び替え、No.1～No.14を「環境基本計画事業」、No.15～No.29を「各分野における基本計画事業」と区分します。

「環境基本計画事業」は、環境審議会で行う管理を行います。

「各分野における基本計画事業」は、他の分野の計画で定められており、その重点取り組みは、計画を所管するそれぞれの審議会、有識者会議で行う管理を行い、結果を環境審議会に報告します。

事業	No.	重点取り組み	担当課・係
環境基本計画	1	シンボル種（オオルリジミなど地域の生態系を代表する種）やレッドリスト種・天然記念物などの保護活動を推進する。	環境課 環境政策担当 文化課 文化財保護係
	2	外来生物の分布状況を把握し、その悪影響に関する普及啓発を実施する。	環境課 環境政策担当
	3	悪臭防止法に基づく臭気指数規制の適切な運用を図る。	環境課 環境保全係
	4	広報などでごみの分別の徹底を啓発する。	環境課 資源循環推進担当
	5	事業者に対しごみの分別、減量化、資源化を指導する。	環境課 資源循環推進担当
	6	ごみの分別方法を分かりやすく説明する。	環境課 資源循環推進担当
	7	安曇野市地球温暖化防止実行計画に基づき、省エネルギーに配慮した行動を行う。	環境課 環境政策担当
	8	地球温暖化防止の取り組みの「見える化」を促進する。	環境課 環境政策担当
	9	公共施設を建設する際に省エネ機器・設備を率先導入する。	財産管理課 施設経営担当 環境課 環境政策担当
	10	緑のカーテンの導入を推進する。	環境課 環境政策担当
	11	住宅等建物への太陽光発電(PPA事業を含む)の取り組みを進める。	環境課 環境政策担当
	12	自動車の使用を極力削減し、自転車・徒歩でのライフスタイルへの転換に向けた普及啓発を推進する。	環境課 環境政策担当
	13	小中学校における環境教育を推進する。	学校教育課 学校教育担当 環境課 環境政策担当
	14	地域活動（隣組・区・地区・地域公民館・自治会組織など）の場などで環境学習会を開催し、出張啓発を行う。	環境課 環境政策担当

事業	No.	重点取り組み	担当課・係
各分野における基本計画	15	薪の地産地消率向上を推進する。	耕地林務課 林務担当
	16	里山で生産される間伐材など「安曇野材」を活用できる生産・流通の仕組みづくりを行う。	耕地林務課 林務担当
	17	里山で活動するための技術・知識を身につけるための「さとぷろ。学校」の年間を通じた講座運営をする。	耕地林務課 林務担当
	18	松枯れ対策事業を継続して行う。	耕地林務課 林務担当
	19	農地を計画的に保全し、農業生産と田園景観の基盤を守る。	農政課 農村振興担当
	20	荒廃農地対策を行う。	農政課 農村振興担当 農業委員会
	21	県知事認定の「エコファーマー」制度の推進に協力する。	農政課 生産振興担当
	22	鳥獣被害防止計画を策定（見直し）し、実施する。	耕地林務課 林務担当
	23	多面的機能支払交付金事業の運用・啓発を図る。	耕地林務課 耕地担当
	24	緑の恵みを感じることができる講座を開催する。	都市計画課 公園緑地担当
	25	景観条例や屋外広告物条例の運用・啓発を行う。	建築住宅課 建築景観係
	26	地下水涵養に資する手法などの調査・研究・試行を実施する。	環境課 環境政策担当
	27	雨水貯留施設の設置に対する補助を行う。	環境課 環境政策担当
	28	管理不十分な空家などへの指導をする。	移住定住推進課 空家活用係
29	デマンド交通「あづみん」、「定時定路線」の運行を行う。	政策経営課 企画担当	

1-7 対象とする重点取り組みのプログラム化

基本計画の「基本目標④参加と協働」の個別目標「13 環境情報を充実させる」「14 環境について学ぶ・体験する」「15 環境保全活動を活発にする」は、取り組みを展開する手段です。

「環境基本計画事業」の取り組みを具体的に示すのにあたり、この手段と達成度が分かる目標を設定しプログラム化します。

「各分野における基本計画事業」は、各分野の計画と進行管理を行う組織を明確にし、その計画に示している実施内容を抽出してプログラム化します。

1-8 プログラムの見直し

プログラムは、必要に応じて随時見直し、対象の年次の実情にあったものになるように改めます。

2 具体的な取り組み

2-1 環境基本計画事業のプログラム

No. 1	シンボル種（オオルリシジミなど地域の生態系を代表する種）やレッドリスト種・天然記念物などの保護活動を推進する。			
基本計画	個別目標	5	生きものをまもる	
	主要施策	5-1	生きもの調査の実施と貴重な動植物の保護	
	環境指標	「生きもの調査の実施」 1回/5年	2021実績	1回/5年
	担当課・係	環境課・環境政策担当 / 文化課・文化財保護係		
参加と協働	情報の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報あづみの ・ 市ホームページ ・ 安曇野エコプラン.net ・ 安曇野市版レッドデータブック 2014 		
	学ぶ・体験する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然観察会 		
	関連組織	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生物多様性アドバイザー連絡会議 ・ 安曇野オオルリシジミ保護対策会議 		

項目	内容	
基本施策	貴重な動植物の保全活動	
目的	生物多様性の保全	
目標	(1) 自然観察会または学習講座の開催 年3回以上 (2) 生物多様性アドバイザー連絡会議の開催 年1回以上 (3) 安曇野オオルリシジミ保護対策会議の支援	
実施内容	2023	① 5年に一度の「生きもの調査」を兼ねての自然観察会の企画・運営 ② レッドデータブックの改訂作業の実施 (生物多様性アドバイザー連絡会議の開催による情報収集及び共有) ③ 安曇野オオルリシジミ保護対策会議の支援
	2024	① 自然観察会または学習講座の企画・運営 ② レッドデータブックの改訂 (生物多様性アドバイザー連絡会議の開催による情報収集及び共有) ③ 安曇野オオルリシジミ保護対策会議の支援
	2025	① 自然観察会または学習講座の企画・運営 ② 生物多様性アドバイザー連絡会議の開催による情報収集及び共有 ③ 安曇野オオルリシジミ保護対策会議の支援
	2026	① 自然観察会または学習講座の企画・運営 ② 生物多様性アドバイザー連絡会議の開催による情報収集及び共有 ③ 安曇野オオルリシジミ保護対策会議の支援
	2027	① 自然観察会または学習講座の企画・運営 ② 生物多様性アドバイザー連絡会議の開催による情報収集及び共有 ③ 安曇野オオルリシジミ保護対策会議の支援 ④ 5年に一度の「生きもの調査」の企画

No. 2	外来生物の分布状況を把握し、その悪影響に関する普及啓発を実施する。			
基本計画	個別目標	5	生きものをまもる	
	主要施策	5-3	外来生物への対策	
	環境指標	特定外来種駆除活動の参加者数 8,000人/年	2021実績	4,607人/年
	担当課・係	環境課・環境政策担当		
参加と協働	情報の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報あづみの ・ 市ホームページ ・ チラシ、ポスター ・ 安曇野市版レッドデータブック 2014 		
	学ぶ・体験する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定外来生物リポーターへの登録 ・ 特定外来生物駆除活動への参加 		
	関連組織	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区 ・ 区環境部 		

項目	内容	
基本施策	外来生物の実態把握	
目的	特定外来生物の早期発見	
目標	(1) 特定外来生物リポーター登録者数 累計 70人以上 (2) 特定外来生物の生息・生育情報の収集および分布図の公表 年1回 (3) 毎年1路線のモデル駆除活動	
実施内容	2023	①特定外来生物リポーターの募集・情報提供依頼 ②特定外来生物の駆除啓発に関する広報 ③市有地・市道などにおける駆除活動（豊科・三郷・堀金地域）
	2024	①特定外来生物リポーターの募集・情報提供依頼 ②特定外来生物の駆除啓発に関する広報 ③市有地・市道などにおける駆除活動（豊科・三郷・堀金地域）
	2025	①特定外来生物リポーターの募集・情報提供依頼 ②特定外来生物の駆除啓発に関する広報 ③市有地・市道などにおける駆除活動（穂高・明科地域）
	2026	①特定外来生物リポーターの募集・情報提供依頼 ②特定外来生物の駆除啓発に関する広報 ③市有地・市道などにおける駆除活動（穂高・明科地域）
	2027	①特定外来生物リポーターの募集・情報提供依頼 ②特定外来生物の駆除啓発に関する広報 ③市有地・市道などにおける駆除活動（個別に駆除が必要な地域）

No. 3	悪臭防止法に基づく臭気指数規制の適切な運用を図る。			
基本計画	個別目標	9	きれいな空気と静かな環境をまもる	
	主要施策	9-2	大気汚染・悪臭への対策	
	環境指標	苦情件数 200 件/年	2021 実績	206 件/年
	担当課・係	環境課・環境保全係		
参加と協働	情報の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報あつみの ・ 市ホームページ 		
	学ぶ・体験する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座 		
	関連組織	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公害監視員 ・ 三郷畜産臭気モニター 		

項目	内容	
基本施策	悪臭対策	
目的	きれいな空気の維持	
目標	(1) 臭気指数規制に基づく規制基準超過事業者 ゼロ (2) 臭気モニター等による監視 週1回/12か月 (3) 広報等による規制の周知徹底 年1回以上	
実施内容	2023	①臭気指数規制対象事業所への改善対策指導及び行政処分等の対応 ②臭気モニター等による監視及びモニタリング結果の活用 ③広報等による規制の周知
	2024	①臭気指数規制対象事業所への改善対策指導及び行政処分等の対応 ②臭気モニター等による監視及びモニタリング結果の活用 ③広報等による規制の周知
	2025	①臭気指数規制対象事業所への改善対策指導及び行政処分等の対応 ②臭気モニター等による監視及びモニタリング結果の活用 ③広報等による規制の周知
	2026	①臭気指数規制対象事業所への改善対策指導及び行政処分等の対応 ②臭気モニター等による監視及びモニタリング結果の活用 ③広報等による規制の周知
	2027	①臭気指数規制対象事業所への改善対策指導及び行政処分等の対応 ②臭気モニター等による監視及びモニタリング結果の活用 ③広報等による規制の周知

No. 4	広報などでごみの分別の徹底を啓発する。			
基本計画	個別目標	11	ごみを少なくする	
	主要施策	11-1	リデュースの推進	
	環境指標	市民1日1人当たりのごみ排出量 782g/人・日	2021実績	811g/人・日
	担当課・係	環境課・資源循環推進担当		
参加と協働	情報の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報あづみの（含むラジオ版） ・ 市ホームページ ・ 家庭用資源物・ごみ出し方の手引き ・ ごみ分別アプリケーションの安曇野市版 ・ LINEによるごみの分別案内 		
	学ぶ・体験する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座、環境学習会 		
	関連組織	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区 ・ 区環境部 		

項目	内容	
基本施策	ごみに関する情報提供	
目的	ごみの減量化	
目標	(1) 環境部長会議等の開催 年1回 (2) 緑のリサイクル及び処理困難物（木くず）の受け入れ 149 t/年 (3) 生ごみ処理機等購入補助金の交付 130 件/年 (4) 燃やすごみに含まれる塵芥類の比率（家庭ごみ） 30%（2030年度）	
実施内容	2023	①環境部長会議、環境学習会等の開催、環境活動交付金の交付 ②緑のリサイクルに加え、処理困難物（木くず）の受入れ ③生ごみ処理機等購入補助金の交付 ④燃やすごみに含まれる塵芥類の比率（家庭ごみ） 37%
	2024	①環境部長会議、環境学習会等の開催、環境活動交付金の交付 ②緑のリサイクル及び処理困難物（木くず）の受入れ ③生ごみ処理機等購入補助金の交付 ④燃やすごみに含まれる塵芥類の比率（家庭ごみ） 36%
	2025	①環境部長会議、環境学習会等の開催、環境活動交付金の交付 ②緑のリサイクル及び処理困難物（木くず）の受入れ ③生ごみ処理機等購入補助金の交付 ④燃やすごみに含まれる塵芥類の比率（家庭ごみ） 35%
	2026	①環境部長会議、環境学習会等の開催、環境活動交付金の交付 ②緑のリサイクル及び処理困難物（木くず）の受入れ ③生ごみ処理機等購入補助金の交付 ④燃やすごみに含まれる塵芥類の比率（家庭ごみ） 34%
	2027	①環境部長会議、環境学習会等の開催、環境活動交付金の交付 ②緑のリサイクル及び処理困難物（木くず）の受入れ ③生ごみ処理機等購入補助金の交付 ④燃やすごみに含まれる塵芥類の比率（家庭ごみ） 33%

No. 5	事業者に対しごみの分別、減量化、資源化を指導する。			
基本計画	個別目標	11	ごみを少なくする	
	主要施策	11-1	リデュースの推進	
	環境指標	事業系可燃ごみ排出量 10,639 t/年	2021実績	11,574 t/年
	担当課・係	環境課・資源循環推進担当		
参加と協働	情報の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・広報あづみの（含むラジオ版） ・市ホームページ 		
	学ぶ・体験する	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座 		
	関連組織	<ul style="list-style-type: none"> ・安曇野市商工会 ・飲食店組合等の団体 ・資源回収事業者 		

項目	内容	
基本施策	事業系ごみの削減	
目的	ごみの減量化	
目標	(1) 事業系一般廃棄物の減量 852 t/年（紙類の拠点回収） (2) 収集運搬許可業者との会議を開催 年1回 (3) 事業系一般廃棄物の資源化（木くずをチップ化し熱原料に使用） (4) 燃やすごみに含まれる塵芥類の比率（事業ごみ） 40%（2030年度）	
実施内容	2023	①紙類を3カ所のリサイクルセンターで受入 ②収集運搬許可業者との会議開催による情報収集及び共有 ③木くずを豊科リサイクルセンターで受入 ④燃やすごみに含まれる塵芥類の比率（事業ごみ） 47%
	2024	①紙類を3カ所のリサイクルセンターで受入 ②収集運搬許可業者との会議開催による情報収集及び共有 ③木くずを豊科リサイクルセンターで受入 ④燃やすごみに含まれる塵芥類の比率（事業ごみ） 46%
	2025	①リサイクルセンターに搬入する事業所への利便性等の聞き取り調査 ②収集運搬許可業者との会議開催による情報収集及び共有 ③木くずを豊科リサイクルセンターで受入 ④燃やすごみに含まれる塵芥類の比率（事業ごみ） 45%
	2026	①紙類以外の品目追加を検討 ②収集運搬許可業者との会議開催による情報収集及び共有 ③木くずを豊科リサイクルセンターで受入 ④燃やすごみに含まれる塵芥類の比率（事業ごみ） 44%
	2027	①紙類以外の品目を追加 ②収集運搬許可業者との会議開催による情報収集及び共有 ③木くずを豊科リサイクルセンターで受入 ④燃やすごみに含まれる塵芥類の比率（事業ごみ） 43%

No. 6	ごみの分別方法を分かりやすく説明する。			
基本計画	個別目標	11	ごみを少なくする	
	主要施策	11-3	リサイクルの推進	
	環境指標	市民1日1人当たりのごみ排出量 782g/人・日 (No.4と同じ)	2021実績	811g/人・日
	担当課・係	環境課・資源循環推進担当		
参加と協働	情報の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・広報あづみの (含むラジオ版) ・市ホームページ ・家庭用資源物・ごみ出し方の手引き ・ごみ分別アプリケーションの安曇野市版 ・LINEによるごみの分別案内 		
	学ぶ・体験する	・出前講座、環境学習会		
	関連組織	<ul style="list-style-type: none"> ・岳の会 ・不用食器リサイクル実行委員会 		

項目	内容	
基本施策	リサイクルに関する普及啓発	
目的	ごみの減量化	
目標	(1) リサイクル率9.3% (一般廃棄物処理実態調査) (2) LINEによるごみの分別案内と利用促進 (3) 環境学習会の開催 市内10校の小学生 (4) 燃やすごみの排出量 22,194t (2030年度)	
実施内容	2023	①資源化状況の現地確認等 ②LINEによるごみの分別案内 ③環境学習会の開催 ④燃やすごみの排出量 24,280t
	2024	①資源化状況の現地確認等 ②LINEによるごみの分別案内 ③環境学習会の開催 ④燃やすごみの排出量 23,980t
	2025	①資源化状況の現地確認等 ②LINEによるごみの分別案内 ③環境学習会の開催 ④燃やすごみの排出量 23,680t
	2026	①資源化状況の現地確認等 ②LINEによるごみの分別案内 ③環境学習会の開催 ④燃やすごみの排出量 23,380t
	2027	①資源化状況の現地確認等 ②LINEによるごみの分別案内 ③環境学習会の開催 ④燃やすごみの排出量 23,080t

No. 7	安曇野市地球温暖化防止実行計画に基づき、省エネルギーに配慮した行動を行う。			
基本計画	個別目標	12	地球温暖化に対応する	
	主要施策	12-1	省エネルギーの推進	
	環境指標	市施設における再生可能エネルギー設備設置施設数 60 施設	2021 実績	28 施設
	担当課・係	環境課・環境政策担当		
参加と協働	情報の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報あづみの ・ 市ホームページ ・ 環境活動レポート 		
	学ぶ・体験する	・ 対象外		
	関連組織	・ 対象外		

項目	内容	
基本施策	地球温暖化防止実行計画の推進	
目的	地球温暖化防止に向けた率先した取り組み	
目標	(1) 公的施設における再生可能エネルギー設備設置 60 施設 (2) 2030 年度の市の事務事業における温室効果ガス削減率 50% (2013 年度比)	
実施内容	2023	① 公的施設における再生可能エネルギー設備設置 30 施設 ② 地球温暖化防止実行計画に基づく省エネ行動実践での温室効果ガス削減率 44% (2013 年度比)
	2024	① 公的施設における再生可能エネルギー設備設置 38 施設 ② 地球温暖化防止実行計画に基づく省エネ行動実践での温室効果ガス削減率 45% (2013 年度比)
	2025	① 公的施設における再生可能エネルギー設備設置 47 施設 ② 地球温暖化防止実行計画に基づく省エネ行動実践での温室効果ガス削減率 46% (2013 年度比)
	2026	① 公的施設における再生可能エネルギー設備設置 57 施設 ② 地球温暖化防止実行計画に基づく省エネ行動実践での温室効果ガス削減率 47% (2013 年度比)
	2027	① 公的施設における再生可能エネルギー設備設置 60 施設 ② 地球温暖化防止実行計画に基づく省エネ行動実践での温室効果ガス削減率 48% (2013 年度比)

No. 8	地球温暖化防止の取り組みの「見える化」を促進する。			
基本計画	個別目標	12	地球温暖化に対応する	
	主要施策	12-1	省エネルギーの推進	
	環境指標	安曇野市域の温室効果ガス排出量 38.5万 t-CO ₂ /年(2030年度)	2021実績	65.8万 t-CO ₂ /年
	担当課・係	環境課・環境政策担当		
参加と協働	情報の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報あづみの ・ 市ホームページ ・ 安曇野エコプラン.net 		
	学ぶ・体験する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境家計簿 ・ 省エネ対策講演会 		
	関連組織	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安曇野地球温暖化協議会 		

項目	内容	
基本施策	省エネ行動の推進	
目的	地球温暖化対策	
目標	(1) 環境家計簿実施 100 世帯 (2) ゼロカーボンに関するイベント開催 毎年度 1 回 (3) 安曇野市域の温室効果ガス排出量 2030 年度に約 38.5 万 t-CO ₂	
実施内容	2023	① 環境家計簿の運営・結果の公表 実施 80 世帯 ② 環境家計簿実施世帯の平均二酸化炭素排出量前年度比 2 %削減 ③ ゼロカーボンに関するイベント開催の企画・運営
	2024	① 環境家計簿の運営・結果の公表 実施 85 世帯 ② 環境家計簿実施世帯の平均二酸化炭素排出量前年度比 2 %削減 ③ ゼロカーボンに関するイベント開催の企画・運営
	2025	① 環境家計簿の運営・結果の公表 実施 90 世帯 ② 環境家計簿実施世帯の平均二酸化炭素排出量前年度比 2 %削減 ③ ゼロカーボンに関するイベント開催の企画・運営
	2026	① 環境家計簿の運営・結果の公表 実施 95 世帯 ② 環境家計簿実施世帯の平均二酸化炭素排出量前年度比 2 %削減 ③ ゼロカーボンに関するイベント開催の企画・運営
	2027	① 環境家計簿の運営・結果の公表 実施 100 世帯 ② 環境家計簿実施世帯の平均二酸化炭素排出量前年度比 2 %削減 ③ ゼロカーボンに関するイベント開催の企画・運営

No.9	公共施設を建設する際に省エネ機器・設備を率先導入する。			
基本計画	個別目標	12	地球温暖化に対応する	
	主要施策	12-1	省エネルギーの推進	
	環境指標	市施設における再生可能エネルギー設備設置施設数 60 施設 (No.7と同じ)	2021 実績	28 施設
	担当課・係	財産管理課・施設経営担当		
参加と協働	情報の充実	・しゅん工パンフレットの作成		
	学ぶ・体験する	・施設見学の受け入れ		
	関連組織	対象外		

項目	内容
基本施策	公共施設への省エネ機器・設備の率先導入
目的	地球温暖化防止に向けた率先した取り組み
目標	(1) 新築・改修物件での省エネ機器・設備の導入 100% (2) 新築物件での冷暖房負荷低減建材の導入 100% (3) 新築物件での自然エネルギー設備の導入 100%
実施内容	2023 ①省エネ機器・設備の導入 (LED化・節水機器・冷暖房省エネ機器等) ②冷暖房負荷低減建材の導入 (高断熱性能建材等) ③自然エネルギー設備の導入 (太陽光・地中熱等)
	2024 ①省エネ機器・設備の導入 (LED化・節水機器・冷暖房省エネ機器等) ②冷暖房負荷低減建材の導入 (高断熱性能建材等) ③自然エネルギー設備の導入 (太陽光・地中熱等)
	2025 ①省エネ機器・設備の導入 (LED化・節水機器・冷暖房省エネ機器等) ②冷暖房負荷低減建材の導入 (高断熱性能建材等) ③自然エネルギー設備の導入 (太陽光・地中熱等)
	2026 ①省エネ機器・設備の導入 (LED化・節水機器・冷暖房省エネ機器等) ②冷暖房負荷低減建材の導入 (高断熱性能建材等) ③自然エネルギー設備の導入 (太陽光・地中熱等)
	2027 ①省エネ機器・設備の導入 (LED化・節水機器・冷暖房省エネ機器等) ②冷暖房負荷低減建材の導入 (高断熱性能建材等) ③自然エネルギー設備の導入 (太陽光・地中熱等)

No.10	緑のカーテンの導入を推進する。			
基本計画	個別目標	12	地球温暖化に対応する	
	主要施策	12-1	省エネルギーの推進	
	環境指標	安曇野市域の温室効果ガス排出量 38.5万t-CO ₂ /年(2030年度) (No.8と同じ)	2021実績	65.8万t-CO ₂ /年
	担当課・係	環境課・環境政策担当		
参加と協働	情報の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・広報あづみの ・市ホームページ ・安曇野エコプラン.net 		
	学ぶ・体験する	<ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテン講座 		
	関連組織	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人あづみ野風土舎 		

項目	内容
基本施策	壁面緑化や緑のカーテンの普及
目的	CO ₂ 削減への意識の高揚
目標	(1) 緑のカーテン講座 年1回 (2) 市施設での取り組み数 35施設 (3) 写真展の開催 年1回 (4) 緑のカーテン導入率 50% (2030年度)
実施内容	2023 ①緑のカーテン講座の実施 ②市施設での実施 ③環境フェアでの写真展の実施 ④緑のカーテン導入率 37%
	2024 ①緑のカーテン講座の実施 ②市施設での実施 ③環境フェアでの写真展の実施 ④緑のカーテン導入率 39%
	2025 ①緑のカーテン講座の実施 ②市施設での実施 ③環境フェアでの写真展の実施 ④緑のカーテン導入率 41%
	2026 ①緑のカーテン講座の実施 ②市施設での実施 ③環境フェアでの写真展の実施 ④緑のカーテン導入率 43%
	2027 ①緑のカーテン講座の実施 ②市施設での実施 ③環境フェアでの写真展の実施 ④緑のカーテン導入率 45%

No.11	住宅等建物への太陽光発電(PPA 事業を含む)の取り組みを進める。			
基本計画	個別目標	12	地球温暖化に対応する	
	主要施策	12-2	再生可能エネルギーの利用拡大	
	環境指標	太陽光発電設備の導入件数 6,000 件	2021 実績	4,699 件
	担当課・係	環境課・環境政策担当		
参加と協働	情報の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報あづみの ・ 市ホームページ ・ 安曇野エコプラン.net 		
	学ぶ・体験する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安曇野環境フェアでのブース設置 		
	関連組織	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象外 		

項目	内容	
基本施策	再生可能エネルギーの導入促進と普及啓発	
目的	再生可能エネルギー導入促進	
目標	(1) 住宅用太陽光発電システム設置補助事業執行率 100% (2) 太陽光発電設備の導入件数 6,000 件	
実施内容	2023	①住宅用太陽光発電システム設置補助事業 100% ②太陽光発電設備の導入件数 5,200 件
	2024	①住宅用太陽光発電システム設置補助事業 100% ②太陽光発電設備の導入件数 5,400 件
	2025	①住宅用太陽光発電システム設置補助事業 100% ②太陽光発電設備の導入件数 5,600 件
	2026	①住宅用太陽光発電システム設置補助事業 100% ②太陽光発電設備の導入件数 5,800 件
	2027	①住宅用太陽光発電システム設置補助事業 100% ②太陽光発電設備の導入件数 6,000 件

No.12	自動車の使用を極力削減し、自転車・徒歩でのライフスタイルへの転換に向けた普及啓発を推進する。			
基本計画	個別目標	12	地球温暖化に対応する	
	主要施策	12-3	低炭素なまちづくりの推進	
	環境指標	安曇野市域の温室効果ガス排出量 38.5万t-CO ₂ /年(2030年度) (No.8・10と同じ)	2021実績	65.8万t-CO ₂ /年
	担当課・係	環境課・環境政策担当		
参加と協働	情報の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・広報あづみの ・市ホームページ ・安曇野エコプラン.net 		
	学ぶ・体験する	・安曇野環境フェアでのブース設置		
	関連組織	・安曇野工業会		

項目	内容	
基本施策	ノーマイカーの奨励	
目的	自動車使用の削減	
目標	(1) 自動車使用率(距離)前年度比2%削減 (2) 自動車から徒歩・自転車中心でのライフスタイルの転換	
実施内容	2023	①自動車使用に関する調査の運営・検討 ②ライフスタイルの転換に向けた意識啓発活動の実施
	2024	①自動車使用に関する調査の運営・結果の公表 (自動車使用率(距離)2023年度比2%削減) ②ライフスタイルの転換に向けた意識啓発活動の実施
	2025	①自動車使用に関する調査の運営・結果の公表 (自動車使用率(距離)2023年度比4%削減) ②ライフスタイルの転換に向けた意識啓発活動の実施
	2026	①自動車使用に関する調査の運営・結果の公表 (自動車使用率(距離)2023年度比6%削減) ②ライフスタイルの転換に向けた意識啓発活動の実施
	2027	①自動車使用に関する調査の運営・結果の公表 (自動車使用率(距離)2023年度比8%削減) ②ライフスタイルの転換に向けた意識啓発活動の実施

No.13	小中学校における環境教育を推進する。			
基本計画	個別目標	14	環境について学ぶ・体験する	
	主要施策	14-1	学校、教育・保育施設での環境学習	
	環境指標	教育機関における環境学習に係る 出前講座回数 10回/年	2021 実績	0回/年
	担当課・係	学校教育課・学校教育担当、環境課・環境政策担当		
参加と協働	情報の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習プログラム ・市ホームページ ・安曇野エコプラン.net 		
	学ぶ・体験する	・総合学習の時間等における出前講座		
	関連組織	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校 ・安曇野環境市民ネットワーク 		

項目	内容	
基本施策	授業を活用した環境学習の推進	
目的	子どもの環境学習機会の創出	
目標	(1) 環境学習プログラムの市内小中学校への周知 年1回 (2) 出前講座(自然環境を大切にすまち) 年2回以上	
実施内容	2023	①環境学習プログラムの市内小中学校への周知 ②出前講座の実施
	2024	①環境学習プログラムの市内小中学校への周知 ②出前講座の実施
	2025	①環境学習プログラムの市内小中学校への周知 ②出前講座の実施
	2026	①環境学習プログラムの市内小中学校への周知 ②出前講座の実施
	2027	①環境学習プログラムの市内小中学校への周知 ②出前講座の実施

No.14	地域活動（隣組・区・地区・地域公民館・自治会組織など）の場などで環境学習会を開催し、出張啓発を行う。			
基本計画	個別目標	14	環境について学ぶ・体験する	
	主要施策	14-2	生涯学習としての環境学習	
	環境指標	行動計画に基づく環境学習の開催数 10回/年	2021 実績	4回/年
	担当課・係	環境課・環境政策担当		
参加と協働	情報の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ ・広報あづみの 		
	学ぶ・体験する	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動における出前講座 		
	関連組織	<ul style="list-style-type: none"> ・隣組・区・地区・地域公民館・自治会組織など 		

項目	内容	
基本施策	環境講座などの開催	
目的	地域住民の環境学習機会の創出	
目標	(1) 出前講座（自然環境を大切にすまち） 年2回以上	
実施内容	2023	① 出前講座の実施
	2024	① 出前講座の実施
	2025	① 出前講座の実施
	2026	① 出前講座の実施
	2027	① 出前講座の実施

2-2 各分野における基本計画事業のプログラム

No.15	薪の地産地消率向上を推進する。				
No.16	里山で生産される間伐材など「安曇野材」を活用できる生産・流通の仕組みづくりを行う。				
No.17	里山で活動するための技術・知識を身につけるための「さとぶろ。学校」の年間を通じた講座運営をする。				
基本計画	個別目標	2	里山をまもる		
	主要施策	2-2	里山再生計画の推進		
	環境指標	安曇野材の年間利用実績	300 m ³ /年	2021 実績	249m ³ /年
		さとぶろ。学校の年間参加者数（延べ）	110 人/年	2021 実績	104人/年
担当課・係	耕地林務課・林務担当				

個別計画	第2次里山再生計画
計画期間	2020年～2024年
進行管理	里山再生計画推進協議会

年度		内容
実施内容	2023	①里山まきの環プロジェクトの開催 ②薪ボイラーへの薪の提供 ③里山木材活用プロジェクトの開催 ④あづみの里山市の開催
	2024	⑤安曇野材の利用促進 ⑥里山学びの環プロジェクトの開催 ⑦「さとぶろ。学校」の開講
	2025	第3次里山再生計画による施策の実施
	2026	
	2027	

No.18	松枯れ対策事業を継続して行う。				
基本計画	個別目標	2	里山をまもる		
	主要施策	2-2	里山再生計画の推進		
	環境指標	安曇野材の年間利用実績 300 m ³ /年 (No. 15~17 と同じ)		2021 実績	249m ³ /年
		さとふろ。学校の年間参加者数 (延べ) 110 人/年 (No. 15~17 と同じ)		2021 実績	104人/年
担当課・係	耕地林務課・林務担当				

個別計画	松くい虫被害対策地区実施計画
計画期間	2017 年～
進行管理	松くい虫被害対策協議会

年度	内容	目標値		
		①	②	③
実施内容	2023	600 本/ 年以下	600 本/ 年以下	10 本/ 年以下
	2024			
	2025			
	2026			
	2027			
被害状況により、松くい虫対策地区実施計画で定める。				

No.19	農地を計画的に保全し、農業生産と田園景観の基盤を守る。			
No.20	荒廃農地対策を行う。			
No.21	県知事認定の「エコファーマー」制度の推進に協力する。			
No.22	鳥獣被害防止計画を策定（見直し）し、実施する。			
基本計画	個別目標	3	里地をまもる	
	主要施策	3-1	田園環境の保全	
		3-2	環境資源の保全と活用	
		3-4	鳥獣被害の防止	
	環境指標	認定農業者数 270 経営体	2021 実績	295経営体
集落営農組織数 27 組織		2021 実績	27組織	
担当課・係	農政課・農村振興担当・生産振興担当、(農業委員会)、耕地林務課・林務担当			

個別計画	第3次農業・農村振興基本計画
計画期間	2022年～2026年
進行管理	農業・農村振興計画推進委員会

年度	内容	目標値				
		①	②	③	④	⑤
実施内容	2023	270人	27組織	19ha	1回	3,522千円
	2024	270人	27組織	19ha	2回	3,451千円
	2025	270人	27組織	19ha	2回	3,418千円
	2026	270人	27組織	19ha	2回	3,400千円
	2027	第4次農業・農村振興基本計画による施策の実施				

No.23	多面的機能支払交付金事業の運用・啓発を図る。			
基本計画	個別目標	4	川や水辺をまもる	
	主要施策	4-1	河川・水辺の保全と維持管理	
	環境指標	多面的機能支援交付金の活動組織 取組面積 3,850ha	2021実績	3,643ha
	担当課・係	耕地林務課・耕地担当		

個別計画	第3次農業・農村振興基本計画
計画期間	2022年～2026年
進行管理	農業・農村振興計画推進委員会

年度	内容	目標値	
		①	②
実施内容	2023 ① 多面的機能を支える組織の拡充の支援 ② 事業取り組み面積の向上	57組織	3,750ha
	2024 ① 多面的機能を支える組織の拡充の支援 ② 事業取り組み面積の向上 ③ 組織拡充による組織の広域化の検討	57組織	3,780ha
	2025 ① 多面的機能を支える組織の拡充の支援 ② 事業取り組み面積の向上 ③ 組織拡充による組織の広域化の検討と実施	57組織	3,810ha
	2026 ① 多面的機能を支える組織の拡充の支援 ② 事業取り組み面積の向上 ③ 組織拡充による組織の広域化の検討と実施	57組織	3,850ha
	2027	第4次農業・農村振興基本計画による施策の実施	

No.24	緑の恵みを感じることができる講座を開催する。			
基本計画	個別目標	6	身近な自然とふれあう	
	主要施策	6-1	緑化の推進	
	環境指標	緑の恵みを感じることができる講座の開催 4回/年	2021実績	4回/年
	担当課・係	都市計画課・公園緑地担当		

個別計画	緑の基本計画
計画期間	2017年～2026年
進行管理	緑の基本計画推進協議会

年度	内容	目標値
実施内容	2023 緑の恵みを感じることができる講座 ①樹木鑑賞ツアー ②花壇づくり講座（春） ③花壇づくり講座（秋） ④ハンギングバスケット講座 ⑤寄せ植えコンテスト	4回
	2024 緑の恵みを感じることができる講座 ①樹木鑑賞ツアー ②花壇づくり講座（春） ③花壇づくり講座（秋） ④ハンギングバスケット講座 ⑤寄せ植えコンテスト	4回
	2025 緑の恵みを感じることができる講座 ①樹木鑑賞ツアー ②花壇づくり講座（春） ③花壇づくり講座（秋） ④ハンギングバスケット講座 ⑤寄せ植えコンテスト	4回
	2026 緑の恵みを感じることができる講座 ①樹木鑑賞ツアー ②花壇づくり講座（春） ③花壇づくり講座（秋） ④ハンギングバスケット講座 ⑤寄せ植えコンテスト	4回
	2027 緑の恵みを感じることができる講座 ①樹木鑑賞ツアー ②花壇づくり講座（春） ③花壇づくり講座（秋） ④ハンギングバスケット講座 ⑤寄せ植えコンテスト	4回

No.25	景観条例や屋外広告物条例の運用・啓発を行う。			
基本計画	個別目標	7	景観や歴史・文化を大切にする	
	主要施策	7-1	良好な景観の保全・形成	
	環境指標	景観に関する広報及び講座の開催 12回/年	2021実績	10回/年
	担当課・係	建築住宅課・建築景観係		

個別計画	景観計画
計画期間	2021年～2030年
進行管理	景観審議会

年度	内容	目標値	
		①	②
実施内容	2023 ①景観条例・屋外物広告物条例の周知に伴う広報及び講座の開催 ②景観及び屋外広告物の定期パトロール	8回	36回
	2024 ①景観条例・屋外物広告物条例の周知に伴う広報及び講座の開催 ②景観及び屋外広告物の定期パトロール	9回	36回
	2025 ①景観条例・屋外物広告物条例の周知に伴う広報及び講座の開催 ②景観及び屋外広告物の定期パトロール	10回	36回
	2026	第2次景観計画による施策の実施	
	2027		

No.26	地下水涵養に資する手法などの調査・研究・試行を実施する。			
No.27	雨水貯留施設の設置に対する補助を行う。			
基本計画	個別目標	8	豊富できれいな水の環境をまもる	
	主要施策	8-4	地下水涵養の促進	
		8-5	水資源の有効利用	
	環境指標	人為的な地下水涵養量 300.0 万m ³ /年	2021 実績	183.4 万m ³ /年
担当課・係	環境課・環境政策担当			

個別計画	水環境基本計画
計画期間	2017 年～2026 年
進行管理	水資源対策協議会

年度	内容	目標値		
		①	②	③
実施内容	2023 ①地下水講座等の参加人数 ^{※1} ②人為的な地下水涵養量 ^{※2} ③雨水貯留施設設置補助件数	延べ 170 人以上	240 万m ³	14 件
	2024 ①地下水講座等の参加人数 ②人為的な地下水涵養量 ③雨水貯留施設設置補助件数	延べ 190 人以上	260 万m ³	15 件
	2025 ①地下水講座等の参加人数 ②人為的な地下水涵養量 ③雨水貯留施設設置補助件数	延べ 200 人以上	280 万m ³	16 件
	2026 ①地下水講座等の参加人数 ②人為的な地下水涵養量 ③雨水貯留施設設置補助件数	延べ 210 人以上	300 万m ³	18 件
	2027 ①地下水講座等の参加人数 ②人為的な地下水涵養量 ③雨水貯留施設設置補助件数	延べ 220 人以上	300 万m ³	20 件

※1：小中学校における出前授業、区等への出前講座の参加人数

※2：麦あと湛水（水田機能維持・地力増進推進）事業及び新規需要米等転作推進事業等の継続的な地下水涵養量を集計して算出

No.28	管理不十分な空家などへの指導をする。			
基本計画	個別目標	9	きれいな空気と静かな環境をまもる	
	主要施策	9-5	空家などへの対策	
	環境指標	苦情件数 200 件/年 (No.3 と同じ)	2021 実績	206 件/年
	担当課・係	移住定住推進課・空家活用係		

個別計画	第2次安曇野市空家等対策計画
計画期間	2023年～2027年
進行管理	安曇野市空家等対策協議会

年度	内容	目標値		
		①	②	③
実施内容	2023 ① 空家対策補助金の交付による利活用及び環境、景観等の保全促進 ② 空家相談会、専門的講座等の開催 ③ 立入調査による特定空家への認定と助言、指導等による早期解決の支援	35 件	3 回	10 件
	2024 ① 空家対策補助金の交付による利活用及び環境、景観等の保全促進 ② 空家相談会、専門的講座等の開催 ③ 立入調査による特定空家への認定と助言、指導等による早期解決の支援	35 件	3 回	10 件
	2025 ① 空家対策補助金の交付による利活用及び環境、景観等の保全促進 ② 空家相談会、専門的講座等の開催 ③ 立入調査による特定空家への認定と助言、指導等による早期解決の支援	35 件	3 回	10 件
	2026 ① 空家対策補助金の交付による利活用及び環境、景観等の保全促進 ② 空家相談会、専門的講座等の開催 ③ 立入調査による特定空家への認定と助言、指導等による早期解決の支援	35 件	3 回	10 件
	2027 ① 空家対策補助金の交付による利活用及び環境、景観等の保全促進 ② 空家相談会、専門的講座等の開催 ③ 立入調査による特定空家への認定と助言、指導等による早期解決の支援	35 件	3 回	10 件

No.29	あづみん（デマンド交通、定時定路線）の運行を行う。			
基本計画	個別目標	12	地球温暖化に対応する	
	主要施策	12-3	低炭素なまちづくりの推進	
	環境指標	あづみん（デマンド交通）の利用者数 87,000人/年	2021実績	78,975人/年
	担当課・係	政策経営課・企画担当		

個別計画	地域公共交通計画
計画期間	2023年～2027年
進行管理	地域公共交通協議会

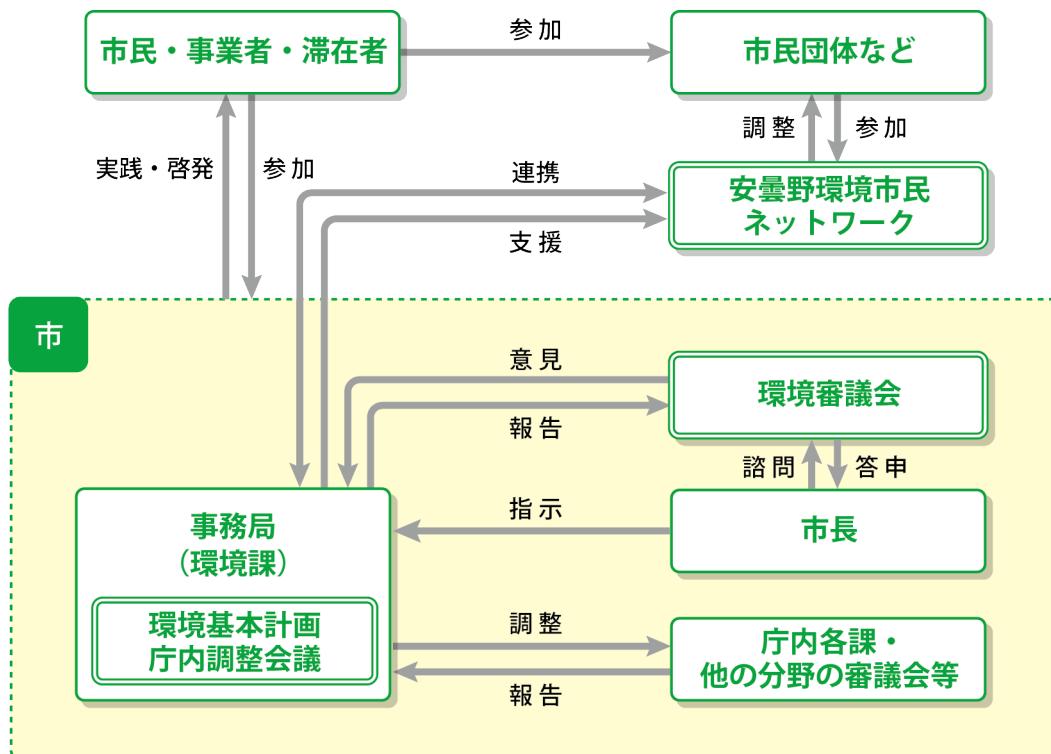
年度	内容	目標値	
		①	②
実施内容	2023 ①あづみん（デマンド交通、定時定路線）の運行 ②利便性の向上に向けた検討及び利用促進に向けた啓発活動	-	市報1回/年 会報1回/年
	2024 ①あづみん（デマンド交通、定時定路線）の運行 ②利便性の向上に向けた検討及び利用促進に向けた啓発活動	-	市報1回/年 会報1回/年
	2025 ①あづみん（デマンド交通、定時定路線）の運行 ②利便性の向上に向けた検討及び利用促進に向けた啓発活動 ③地域公共交通網形成計画の中間評価	-	市報1回/年 会報1回/年
	2026 ①あづみん（デマンド交通、定時定路線）の運行 ②利便性の向上に向けた検討及び利用促進に向けた啓発活動	-	市報1回/年 会報1回/年
	2027 ①あづみん（デマンド交通、定時定路線） ②利便性の向上に向けた検討及び利用促進に向けた啓発活動 ③地域公共交通網形成計画の最終評価、次期計画の策定	デマンド交通 87,000人/年	市報1回/年 会報1回/年

3-1 推進体制

基本計画で定めた推進体制は下の図のとおりです。

市役所内の「環境基本計画庁内調整会議」、専門的な見地から計画の達成・進捗状況を確認・点検・評価する「環境審議会」や「他の分野の審議会等」が計画の推進を図ります。

また、環境保全活動を展開する市民団体などで構成する「安曇野環境市民ネットワーク」との連携を一層進めます。



3-2 進行管理

環境マネジメントシステムの4つのステップである「計画 (Plan)」→「実行 (Do)」→「点検・評価 (Check)」→「改善 (Action)」のPDCAサイクルに従い進行します。

このサイクルを踏まえ、年度ごとの「実施計画書」を基に取り組みを実施し、その結果を「年次報告書」としてまとめ、翌年度の取り組みに反映します。

「計画 (Plan)」

主体・組織	役割
市 (庁内調整会議)	部局横断的な施策・事業について調整し、取り組みを盛り込んだ実施計画書を策定して、情報を広く広報します。
環境審議会	実施計画書の内容を審議します。
環境市民 NT	企画を共有し、協議の上、主体的に所属団体の計画に反映します。
市民・事業者・滞在者	実施計画書の情報を収集し、理解します。

※環境市民 NT (安曇野環境市民ネットワーク)

「実行 (Do)」

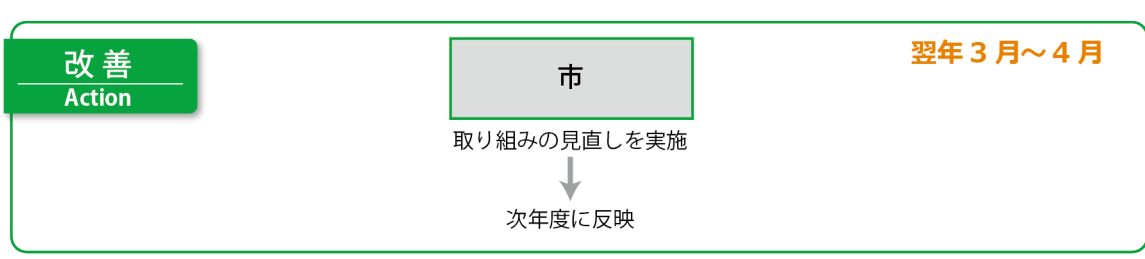
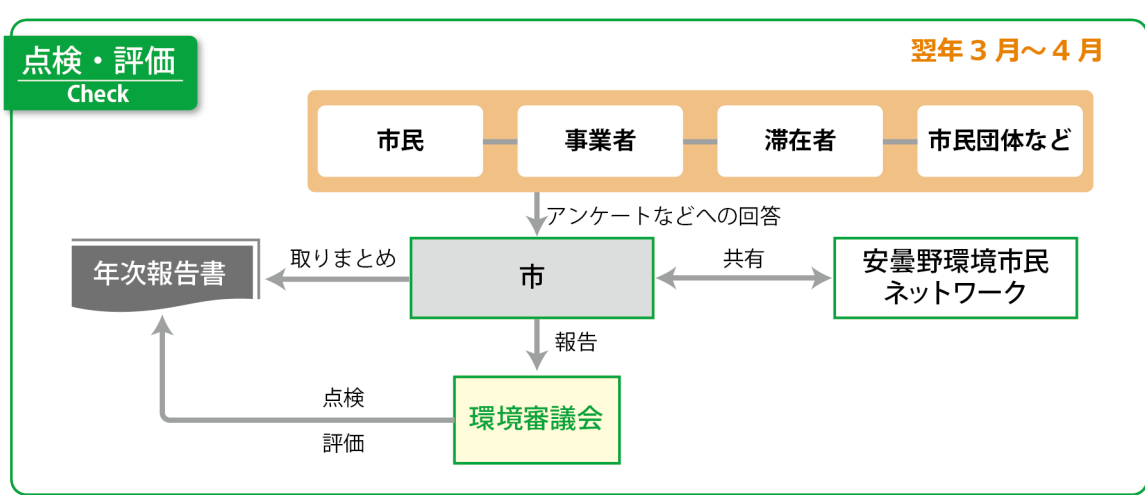
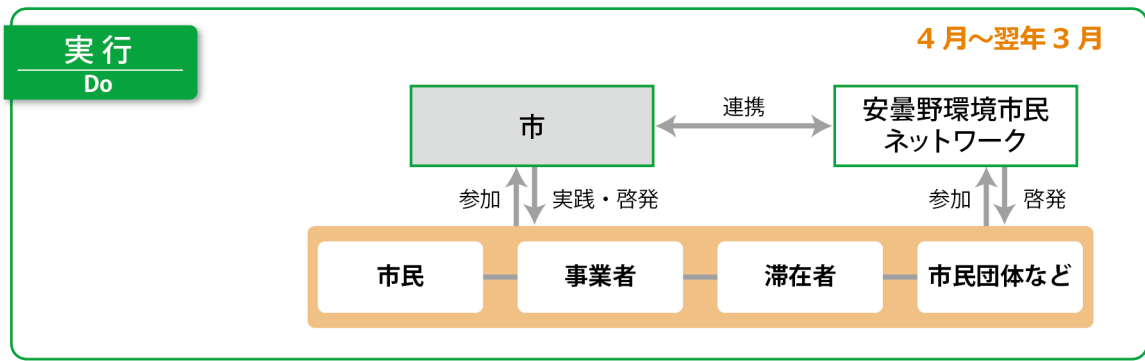
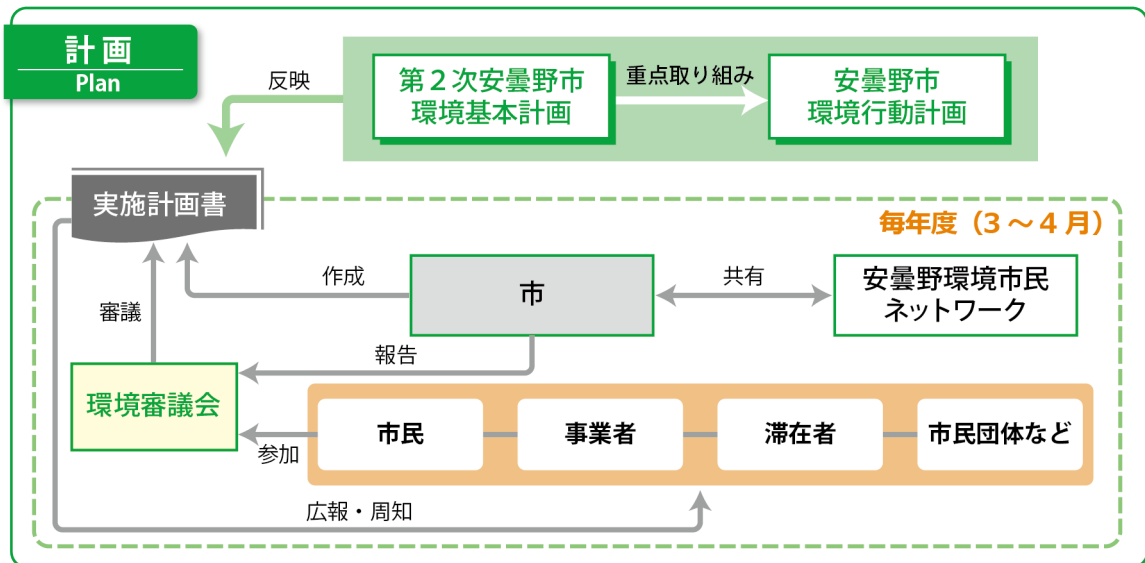
主体・組織	役割
市 (庁内調整会議)	環境市民 NT と連携して、実施計画書に沿った取り組みを積極的に実施します。
環境審議会	市と協力して市民・事業者・滞在者の取り組みを推進します。
環境市民 NT	実施計画書の取り組みを市と連携して実施・啓発します。
市民・事業者・滞在者	市の取り組みに協力し、積極的に実践します。

「点検・評価 (Check)」

主体・組織	役割
市 (庁内調整会議)	取り組み結果を取りまとめ、年次報告書を作成し環境審議会へ報告します。
環境審議会	年次報告書について点検・評価します。
環境市民 NT	所属団体の活動結果を取りまとめ、市と情報共有します。
市民・事業者・滞在者	参加した取り組みのアンケートへ回答します。また、公表された年次報告書を確認し、必要に応じて意見や提案を述べます。

「改善 (Action)」

主体・組織	役割
市 (庁内調整会議)	各主体の意見を踏まえて、取り組みの見直しを行い、次年度の計画へ反映します。



3-3 進行管理シート

【環境基本計画事業】
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：

2. Do (実行)			
目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
①			
②			
③			

3. Check (点検・評価)	
目標 [評価区分]	達成※ 状況
①	
②	
③	
環境審議会 意見	14. 字ぶ・体験する 15. 関連組織

2. Do (実行)	
目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)
①	
②	
③	

3. Check (点検・評価)	
目標 [評価区分]	審議会 の評価
①	
②	
③	

※定数=1:実施した⇒A 家庭の100% 計画どおり中じり⇒C
定数=2:実施数/目標数×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
定性:良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E

【各分野における基本計画事業】

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：

No.							
2. Do(実行)							
目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等				
①							
②							
③							
<small>※定数→1: 実施した⇒A 実施しない⇒E 計画しなかった⇒C 定数→2: 実施数値/目標数値×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E 定性: 良かった⇒A 良かった⇒C 悪かった⇒E</small>							
3. Check(点検・評価)							
目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題					
①							
②							
③							
環境審議会 意見		(主な推進組織の名称:)					
4. Action(改善)							
目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など					
①							
②							
③							
目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期				
①							
②							
③							